

安全データシート

JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2023.02.21

バージョン番号: 4

改訂日: 2023.02.21

項目 1: 化学品及び会社情報

- ・製品識別
- ・化学品の名称 **GC6C**
- ・製品コード 3222030556
- ・該当純物質または混合物の関連特定用途及び使用禁止用途 追加的な関連情報は得られていません。
- ・推奨用途 接着剤
- ・安全データシートの供給元の詳細情報
- ・供給者の会社名称、住所及び電話番号
供給者の会社名称 アルファ・ラバル株式会社
住所 東京都港区港南2-12-23
電話番号 03-5462-2442
(問合せ先) 神奈川県高座郡寒川町一之宮7-11-2
電話番号 0467-75-4459
- ・情報問合せ先:
安全性データシートに関する質問については、最寄りの販売会社にお問い合わせください。
現地販売会社に関する情報は、このドキュメントの項目16にあります。
- ・緊急連絡電話番号 重大な事故が発生した場合には、119を呼び出します。

項目 2: 危険有害性の要約

- ・化学品のGHS分類

引火性液体 区分2	H225 引火性の高い液体及び蒸気
皮膚腐食性/刺激性 区分1B	H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分1	H318 重篤な眼の損傷
感作性(皮膚) 区分1	H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
生殖細胞変異原性 区分2	H341 遺伝性疾患のおそれの疑い
発がん性 区分1A	H350 発がんのおそれ
生殖毒性 区分2	H361 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
特定標的臓器有害性(反復暴露) 区分2	H373 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ
水生環境有害性(慢性毒性) 区分3	H412 長期継続的影響によって水生生物に有害

- ・GHSラベル要素(絵表示又はシンボル、注意喚起語、危険有害性情報及び注意書き)
- ・GHSラベル要素
本製品はGHS(化学品の分類および表示に関する世界調和システム)により分類及び表示されています。
- ・絵表示



GHS02 GHS05 GHS07 GHS08

- ・注意喚起語 危険
- ・危険と定められた成分をラベル表示:
トルエン
フェノール
ホルムアルデヒド
- ・危険有害性情報
H225 引火性の高い液体及び蒸気
H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

(2ページに続く)



安全データシート

JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2023.02.21

バージョン番号: 4

改訂日: 2023.02.21

化学品の名称 GC6C

(1ページの続き)

H341 遺伝性疾患のおそれの疑い

H350 発がんのおそれ

H361 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い

H373 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

H412 長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

P210 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること

P303+P361+P353 皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。

P304+P341 吸入した場合: 呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

GHS分類に関係しない又はGHSで扱われない他の危険有害性

PBT(残留性、生物濃縮性、毒性物質)及びvPvB(高残留性、高生物濃縮性物質)アセスメント

PBT(残留性、生物濃縮性、毒性物質):

本製品は、PBTの物質ではありません。また同物質を含有していません。

vPvB(高残留性、高生物濃縮性物質):

本製品は、vPvBの物質ではありません。また同物質を含有していません。

項目 3: 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物

危険な含有成分:

CAS: 9003-35-4	フェノール樹脂 感作性(皮膚) 区分1, H317	30-<50%
CAS: 64-17-5	エタノール 引火性液体 区分2, H225	20-<30%
CAS: 108-88-3	トルエン 引火性液体 区分2, H225; 生殖毒性 区分2, H361; 特定標的臓器有害性 (反復暴露) 区分2, H373; 吸引性呼吸器有害性 区分1, H304; 皮膚腐食性/刺激性 区分2, H315; 特定標的臓器有害性 (単回暴露) 区分3, H336; 水生環境有害性(慢性毒性) 区分3, H412	10-<20%
CAS: 108-95-2	フェノール 急性毒性(経口) 区分3, H301; 急性毒性(経皮) 区分3, H311; 急性毒性(吸入) 区分3, H331; 生殖細胞変異原性 区分2, H341; 特定標的臓器有害性 (反復暴露) 区分2, H373; 皮膚腐食性/刺激性 区分1B, H314; 水生環境有害性(慢性毒性) 区分2, H411	3-<5%

(3ページに続く)

JP



安全データシート

JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2023.02.21

バージョン番号: 4

改訂日: 2023.02.21

化学品の名称 GC6C

		(2ページの続き)
CAS: 67-56-1	メタノール 引火性液体 区分2, H225; 急性毒性(経口) 区分3, H301; 急性毒性(経皮) 区分3, H311; 急性毒性(吸入) 区分3, H331; 特定標的臓器有害性(単回暴露) 区分1, H370	1-<3%
CAS: 50-00-0	ホルムアルデヒド 可燃性/引火性ガス 区分1, H220; 高圧ガス(液化ガス), H280; 急性毒性(経皮) 区分3, H311; 急性毒性(吸入) 区分2, H330; 感作性(呼吸器) 区分1, H334; 生殖細胞変異原性 区分2, H341; 発がん性 区分1A, H350; 特定標的臓器有害性(単回暴露) 区分1, H370; 特定標的臓器有害性(反復暴露) 区分1, H372; 急性毒性(経口) 区分4, H302; 皮膚腐食性 / 刺激性 区分2, H315; 重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分2A, H319; 感作性(皮膚) 区分1, H317; 引火性液体 区分4, H227; 水生環境有害性(急性毒性) 区分2, H401	0.2-<1%

項目 4: 応急措置

- ・ 応急手当処置に関する説明
- ・ 一般情報:
 化学品の付着した衣類は速やかに脱ぐこと
 中毒症状は時間がかなり経過した後に現れる場合もあるため、事故後最低
 48時間は医師の監視のもとで過ごすこと
- ・ 吸入した場合 外気を送る、つらい場合には医師を呼ぶ
- ・ 皮膚に付着した場合
 即刻石鹼と水で洗い、よくすすぐ
 状態が好転しない場合には直ちに医師に連絡する
- ・ 眼に入った場合
 15分間流水で目を洗い流し、直ちに医師に連絡する
 医師の診察／手当てを受けること。
- ・ 飲み込んだ場合
 飲み込んだ場合:口をすすぐこと。嘔吐を促さないこと。
 医師に連絡する
- ・ 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
- ・ 何らかの即時医療処置及び特別治療の必要性を示す兆候 症状から判断して治療を行ってください。

項目 5: 火災時の措置

- ・ 消火剤
- ・ 適切な消火剤
 二酸化炭素
 砂
 消火粉末
- ・ 使ってはならない消火剤 全開状態で放水
- ・ 本化学物質または混合物から発生する特別な危険性 加熱もしくは火災の際に有毒ガスが発生する
- ・ 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置
- ・ 特別な保護装備:
 酸素ボンベ付き呼吸保護装備を着用
 完全防護服を着用
- ・ その他の情報
 火災残留物および汚染された消火水は関係当局の規則に従って処分する

(4ページに続く)



安全データシート JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2023.02.21

バージョン番号: 4

改訂日: 2023.02.21

化学品の名称 GC6C

危険な容器は水放射で冷却させる

(3ページの続き)

項目 6: 漏出時の措置

・ 人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置

発火源は遠ざける

十分な換気を心がける

物質の蒸気は空気よりも重いため、床、坑、水路および地下室などに高濃度な状態でたまることがある

呼吸保護装備を装着

防護服を着用、防護服を着用していない人は近づけない

蒸気を吸い込まない

・ 環境に対する注意事項

下水、地上水あるいは地下水に達しないようにする

下水、坑道、および地下室への侵入を防ぐ

河川、下水に流れ込んだ場合には関係当局に連絡する

送る容器に入れて再利用先もしくは処分先に送り込む

・ 封じ込め及び浄化の方法及び機材

液体吸収材（砂、珪藻土、酸結合剤、ユニバーサル結合剤、おがくず）で吸収する

中和剤を使用

13項に従い汚染材は廃棄物として処理する

十分な換気を心がける

・ 他の項目への言及

安全な取り扱い方に関しては 7 項を参照

人の保護装備の情報に関しては 8 項を参照

廃棄処分に関しては 13 項参照

項目 7: 取扱い及び保管上の注意

・ 取扱い

取扱い場所の近くに、洗眼瓶または緊急洗眼器を設置する

人の保護装備の情報に関しては 8 項を参照

着火源から遠ざける、禁煙

熱と直射日光から保護する

蒸気を吸い込まない

作業場では十分な換気、埃を吸い取るよう心がける

エアゾールの発生を防ぐ

作業中は飲食しない、禁煙

火花を発生させない工具を使用すること。

・ 火災および爆発防止に関する注意事項:

物質の蒸気は空気よりも重いため、床、坑、水路および地下室などに高濃度な状態でたまることがある

着火源から遠ざける、禁煙

静電気放電を防ぐ措置をほどこす

呼吸保護具を着用する

発火しやすい

・ 混融危険性を含めた安全貯蔵条件

・ 保管

・ 安全な保管条件および容器

換気の良い場所で保管すること。

容器はしっかり密閉状態に保つ

涼しい場所に保管する

(5ページに続く)



安全データシート JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2023.02.21

バージョン番号: 4

改訂日: 2023.02.21

化学品の名称 GC6C

(4ページの続き)

- ・ 同一場所に保管する際の注意事項: 接触回避に関しては10を参照
- ・ 保管条件に関するその他の注意事項:
施錠して保管する
よく密閉した容器の中で涼しく乾燥した場所に保管する
- ・ 消防法 第四類, 引火性液体
- ・ 特定の最終用途 専門家のみが使用

項目 8: ばく露防止及び保護措置

・ 許容濃度等

・ 作業場において限界値の監視を要する成分:

CAS: 108-88-3 トルエン

OEL | 長期値: 188 mg/m³, 50 ppm

CAS: 108-95-2 フェノール

OEL | 長期値: 19 mg/m³, 5 ppm

CAS: 67-56-1 メタノール

OEL | 長期値: 260 mg/m³, 200 ppm

CAS: 50-00-0 ホルムアルデヒド

OEL | 長期値: 0.12 mg/m³, 0.1 ppm
最大許容濃度: 0.24 mg/m³, 0.2 ppm

・ 人が健康上の理由によりこの物質にばく露されてはいけない数値

CAS: 108-88-3 トルエン

経口 | 人が健康上の理由によりこの物質に 8.13 mg/kg bw/day ((消費者))

皮膚 | 人が健康上の理由によりこの物質に 384 mg/kg bw/day ((作業員))

吸収 | 人が健康上の理由によりこの物質に 192 mg/m³ ((作業員))

CAS: 108-95-2 フェノール

経口 | 人が健康上の理由によりこの物質に 0.4 mg/kg bw/day ((消費者))

皮膚 | 人が健康上の理由によりこの物質に 1.23 mg/kg bw/day ((作業員))

吸収 | 人が健康上の理由によりこの物質に 8 mg/m³ ((作業員))

CAS: 67-56-1 メタノール

経口 | 人が健康上の理由によりこの物質に 8 mg/kg bw/day ((消費者))

皮膚 | 人が健康上の理由によりこの物質に 40 mg/kg bw/day ((作業員))

吸収 | 人が健康上の理由によりこの物質に 260 mg/m³ ((作業員))

・ 予測無影響濃度

CAS: 108-88-3 トルエン

予測無影響濃度 | 0.68 mg/L (淡水)

CAS: 108-95-2 フェノール

予測無影響濃度 | 0.0077 mg/L (淡水)

CAS: 67-56-1 メタノール

予測無影響濃度 | 154 mg/L (淡水)

(6ページに続く)

安全データシート

JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2023.02.21

バージョン番号: 4

改訂日: 2023.02.21

化学品の名称 GC6C

(5ページの続き)

・生物学的許容値を持つ原料:

CAS: 108-88-3 トルエン

OEL-B 0.6 mg/l

試料: blood

試料採取時期: Within 2h prior to end of shift at end of work week

物質: Toluene

0.06 mg/l

試料: urine

試料採取時期: Within 2h prior to end of shift at end of work week

物質: Toluene

CAS: 108-95-2 フェノール

OEL-B 250 mg/g Cr

試料: 尿

試料採取時期: 作業終了時

物質: フェノール

CAS: 67-56-1 メタノール

OEL-B 20 mg/l

試料: urine

試料採取時期: End of shift

物質: Methanol

・追加注意事項: 生成時に有効なリストがもとなっている

・設備対策

・技術設備の形体に関する追加注意事項: その他に関しては7項を参照

・保護具

・一般防止措置および衛生措置:

取扱い場所の近くに、洗眼瓶または緊急洗眼器を設置する

換気の良い場所で使用

食物、飲み物、飼料からは遠ざける

汚れのしみ込んだ衣類は直ちに脱ぐ

休憩の前、作業終了後には手を洗う

保護服は別に保管する

眼に入らないよう、また皮膚に接触しないよう注意する

・呼吸保護器具:



短時間もしくは負担が小さい場合には呼吸フィルター付装置を、集中的にあるいは長時間触れる場合には、酸素ボンベ付き呼吸保護装置を使用すること

・手の保護:



保護手袋

手袋の材質は物質/材料/調合剤に対して耐性であり、成分を通すことがあってはならない
浸透時間、透過性および劣化の点を留意しながら手袋の材質を選択する

・手袋材

ブチルゴム(BR)

ニトリルゴム(NBR)

(7ページに続く)

安全データシート JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2023.02.21

バージョン番号: 4

改訂日: 2023.02.21

化学品の名称 GC6C

(6ページの続き)

エチルビニルアルコールラミネート(EVAL)

手袋は材質だけでなく、その他の品質によっても変わり、各メーカーによって異なる。調合する際の物質は複数の成分から生成されるため、手袋材質の耐久性は予想できない、このため使用前には必ずチェックしなければならない

・手袋材の浸透時間

EVAL: >8h

NBR: 10 -480 min

・眼の保護:



密閉式保護めがね

・体の保護:



作業保護服

・周辺への曝露の制限と監視 下水、地上水あるいは地下水に達しないようにする

項目 9: 物理的及び化学的性質

・基本的な物理及び化学特性に関する情報

・一般事項

・物理状態

液状

・色

茶色

・臭い

特異臭

・嗅覚閾値

決まっていない。

・融点／凝固点(混合物の場合は,記載省略可)

決まっていない

・沸点又は初留点及び沸点範囲

>125 °C

・爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界

・下限:

決まっていない。

・上限:

決まっていない。

・引火点

>1 °C (ISO 2719, CLOSED CUP)

・分解温度

>200 C

・pH

決まっていない。

・粘性:

・力学的

決まっていない。

・動粘性率:

1500 -3000 mPa s (25 C)

決まっていない。

・溶解度(混合物の場合は,記載省略可)

・水:

混ぜ合わせられない、ほとんど混ぜ合わせられない

・n-

オクタノール／水分配係数(log値)(混合物の場合は,記載省略可)

決まっていない。

・蒸気圧

決まっていない。

・密度及び／又は相対密度

・密度 約 20 °C:

1 g/cm³

・相対ガス密度

決まっていない。

・蒸気密度

決まっていない。

(8ページに続く)

安全データシート

JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2023.02.21

バージョン番号: 4

改訂日: 2023.02.21

化学品の名称 GC6C

(7ページの続き)

・その他のデータ	
・外観	
・形:	液状
・自然発火点	この製品は自然発火しない
・爆発の危険:	製品は爆発する危険はない。ただし爆発する危険のある蒸気と空気の混合物を形成する可能性はある
・溶剤含有量:	
・有機溶剤:	34.3-<58 %
・状態の変化	
・滴点:	
・火災を加速させる特性を持つ	情報なし
・酸化速度	決まっていない。

項目 10: 安定性及び反応性

- ・反応性 追加的な関連情報は得られていません。
- ・化学的安定性 通常の温度、推奨される使用・保管条件下では安定である
- ・熱分解/回避すべき条件: 規定どおりの使用では分解しない
- ・危険有害反応可能性
空気とともに爆発性のガス混合物を生成する可能性あり
その他に関しては7項を参照
- ・避けるべき条件 高温
- ・混触危険物質
アルカリ(苛性溶液)と一緒に保管しない
強酸化剤と反応
- ・危険有害な分解生成物
燃焼により以下の成分が遊離する可能性あり
窒素酸化物 (NOx)
有毒ガス/蒸気

項目 11: 有害性情報

・毒性学的影響に関する情報

・急性毒性

CAS: 108-95-2 フェノール

皮膚 | LDLo | 630 mg/kg (ウサギ) (LD50)

・分類上の LD/LC50 値:

CAS: 64-17-5 エタノール

経口 | LD50 | 7,060 mg/kg (ラット)

吸収 | LC50 (4 h) | 20,000 mg/L (ラット)

CAS: 108-88-3 トルエン

経口 | LD50 | 5,000 mg/kg (ラット)

皮膚 | LD50 | 12,124 mg/kg (ウサギ)

吸収 | LC50 (4 h) | 5,320 mg/L (Mouse)

(9ページに続く)

安全データシート
JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2023.02.21

バージョン番号: 4

改訂日: 2023.02.21

化学品の名称 GC6C

(8ページの続き)

CAS: 108-95-2 フェノール

経口	LD50	317 mg/kg (ラット)
皮膚	LD50	850 mg/kg (ウサギ)

CAS: 67-56-1 メタノール

経口	LD50	5,628 mg/kg (ラット)
皮膚	LD50	15,800 mg/kg (ウサギ)

CAS: 50-00-0 ホルムアルデヒド

経口	LD50	>200 mg/kg (ラット)
皮膚	LD50	270 mg/kg (ウサギ)
吸収	LC50 (4 h)	470 mg/L (ラット)

- ・皮膚腐食性／刺激性
重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

CAS: 67-56-1 メタノール

皮膚に対する刺激作用	皮膚腐食性／刺激性	(ウサギ)
------------	-----------	-------

- ・眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 重篤な眼の損傷
- ・呼吸器感受性又は皮膚感受性
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- ・生殖細胞変異原性 遺伝性疾患のおそれの疑い
- ・発がん性 発がんのおそれ
- ・生殖毒性 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
- ・特定標的臓器毒性(反復ばく露) 長期にわたる,又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ
- ・誤えん有害性 追加的な関連情報は得られていません。
- ・次の種類の潜在的な効果に対する情報
- ・CMR-作用 (癌誘発、因子変異、そして進化危険作用)
生殖細胞変異原性 区分2, 発がん性 区分1A, 生殖毒性 区分2

項目 12: 環境影響情報

- ・毒性
- ・水生生物に対する毒性:
水生生物に毒性がある、水域で長期にわたり有害作用をおよぼす可能性あり

CAS: 108-88-3 トルエン

LC50 (48 h)	5.5 mg/L (魚)
NOEC	0.74 mg/l (ミジンコ)

CAS: 108-95-2 フェノール

LC50 (48 h)	8.9 mg/L (マス) 0.00175-67.5 mg/L (魚) (96 h.)
EC50 (48 h) (静力学的)	3.1 mg/L (ミジンコ)
NOEC	0.077 mg/l

CAS: 67-56-1 メタノール

EC50 (静力学的)	>10,000 mg/L (ミジンコ)
-------------	---------------------

CAS: 50-00-0 ホルムアルデヒド

LC50 (48 h) (静力学的)	6.7 mg/L
EC50 (静力学的)	5.8 mg/L (ミジンコ)

(10ページに続く)

安全データシート
JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2023.02.21

バージョン番号: 4

改訂日: 2023.02.21

化学品の名称 GC6C

(9ページの続き)

・残留性・分解性

CAS: 108-88-3 トルエン

生分解性 81 %

CAS: 108-95-2 フェノール

生分解性 62 %

CAS: 67-56-1 メタノール

生分解性 69-97 %

CAS: 50-00-0 ホルムアルデヒド

生分解性 100 %

・生態蓄積性

CAS: 67-56-1 メタノール

生物濃縮係数 <10 (魚)

- ・ 土壤中の移動性 追加的な関連情報は得られていません。
- ・ PBT(残留性、生物濃縮性、毒性物質)及びvPvB(高残留性、高生物濃縮性物質)アセスメント
- ・ PBT(残留性、生物濃縮性、毒性物質):
本製品は、PBTの物質ではありません。また同物質を含有していません。
- ・ vPvB(高残留性、高生物濃縮性物質):
本製品は、vPvBの物質ではありません。また同物質を含有していません。
- ・ オゾン層への有害性 追加的な関連情報は得られていません。
- ・ 他の副作用 追加的な関連情報は得られていません。

項目 13: 廃棄上の注意

- ・ 化学品(残余廃棄物)、当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
- ・ 推奨:
専門廃棄物回収業者に引き渡すか、危険物質集積所に持ち込む
家庭ごみとは一緒に処分できない、下水に流してはならない
- ・ 洗浄されていないパッケージ:
推奨: 関係当局の規則に従って処分する

項目 14: 輸送上の注意

- | | |
|-------------------|---------------------|
| ・ 国連番号 | |
| ・ ADR, IMDG, IATA | UN1866 |
| ・ 品名(国連輸送名) | |
| ・ ADR | 1866 RESIN SOLUTION |
| ・ IMDG, IATA | RESIN SOLUTION |

(11ページに続く)

JP

安全データシート
JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2023.02.21

バージョン番号: 4

改訂日: 2023.02.21

化学品の名称 GC6C

(10ページの続き)

・国連分類(輸送における危険有害性クラス)

・ADR, IMDG, IATA



・分類 3 可燃性液体成分
・危険物ラベル 3

・容器等級

・ADR, IMDG, IATA

II

・環境危険:

情報なし

・ユーザー用特別予防措置

警告: 可燃性液体成分

・ケムラー符号:

33

・EMS (電子メールサービスナンバー) 番号:

F-E, S-E

・Stowage Category

B

・MARPOL73/78附属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質

情報なし

・輸送/その他の説明:

・ADR

・Excepted quantities (EQ)

Code: E2

Maximum net quantity per inner packaging: 30 ml

Maximum net quantity per outer packaging: 500 ml

・IMDG

・Limited quantities (LQ)

5L

・Excepted quantities (EQ)

Code: E2

Maximum net quantity per inner packaging: 30 ml

Maximum net quantity per outer packaging: 500 ml

・UN "模範規制":

UN 1866 RESIN SOLUTION, 3, II

項目 15: 適用法令

・該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報 EU Regulation (EC) no.1907/2006 (REACH)
・化審法

・既存化学物質

CAS: 9003-35-4	フェノール樹脂	7-903
CAS: 64-17-5	エタノール	2-202
CAS: 108-88-3	トルエン	3-2, 3-60
CAS: 108-95-2	フェノール	3-481
CAS: 67-56-1	メタノール	2-201
CAS: 50-00-0	ホルムアルデヒド	2-482

(12ページに続く)



安全データシート JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2023.02.21

バージョン番号: 4

改訂日: 2023.02.21

化学品の名称 GC6C

(11ページの続き)

・特定化学物質

内容成分はリストアップされていない

・監視化学物質、旧第二種監視化学物質、旧第三種監視化学物質

CAS: 108-88-3	トルエン	旧第二
CAS: 108-95-2	フェノール	旧第二
CAS: 50-00-0	ホルムアルデヒド	旧第二

・優先評価化学物質

CAS: 108-88-3	トルエン
CAS: 108-95-2	フェノール
CAS: 67-56-1	メタノール
CAS: 50-00-0	ホルムアルデヒド

・既存化学物質安全性点検結果(分解性・蓄積性)

CAS: 64-17-5	エタノール
CAS: 108-88-3	トルエン
CAS: 108-95-2	フェノール
CAS: 67-56-1	メタノール
CAS: 50-00-0	ホルムアルデヒド

・既存化学物質安全性点検結果(毒性)

内容成分はリストアップされていない

・PRTR 制度 - 第一種指定化学物質

CAS: 108-88-3	トルエン	1-300
CAS: 108-95-2	フェノール	1-349

・PRTR 制度 - 特定第一種指定化学物質

CAS: 50-00-0	ホルムアルデヒド	1-411
--------------	----------	-------

・PRTR 制度 - 第二種指定化学物質

内容成分はリストアップされていない

・毒物及び劇物取締法:劇物

CAS: 108-88-3	トルエン
CAS: 108-95-2	フェノール
CAS: 67-56-1	メタノール
CAS: 50-00-0	ホルムアルデヒド

・毒物及び劇物取締法:有機シアン化合物から除かれるもの

内容成分はリストアップされていない

・毒物及び劇物取締法:毒物

内容成分はリストアップされていない

・毒物及び劇物取締法:特定毒物

内容成分はリストアップされていない

・労働安全衛生法

・危険物

・爆発性の物(施行令別表第1第1号)

内容成分はリストアップされていない

(13ページに続く)



安全データシート JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2023.02.21

バージョン番号: 4

改訂日: 2023.02.21

化学品の名称 GC6C

(12ページの続き)

・発火性の物(施行令別表第1第2号)

内容成分はリストアップされていない

・酸化性の物(施行令別表第1第3号)

内容成分はリストアップされていない

・引火性の物(施行令別表第1第4号)

CAS: 64-17-5 | エタノール

CAS: 67-56-1 | メタノール

・可燃性のガス(施行令別表第1第5号)

内容成分はリストアップされていない

・特定化学物質等

・第一類物質

内容成分はリストアップされていない

・第二類物質

CAS: 50-00-0 | ホルムアルデヒド

・第三類物質

CAS: 108-95-2 | フェノール

・名称等を通知すべき有害物(別表第9)

CAS: 64-17-5 | エタノール | 61

CAS: 108-88-3 | トルエン | 407

CAS: 108-95-2 | フェノール | 474

CAS: 67-56-1 | メタノール | 560

CAS: 50-00-0 | ホルムアルデヒド | 548

・製造許可物質

内容成分はリストアップされていない

・鉛中毒予防規則(施行令別表第4)

内容成分はリストアップされていない

・四アルキル鉛中毒予防規則(施行令別表第5)

内容成分はリストアップされていない

・有機溶剤中毒予防規則(施行令別表第6の2)

・第一種有機溶剤等

内容成分はリストアップされていない

・第二種有機溶剤等

CAS: 108-88-3 | トルエン

CAS: 67-56-1 | メタノール

・第三種有機溶剤等

内容成分はリストアップされていない

・強い変異原性が認められた化学物質

CAS: 108-88-3 | トルエン

・消防法

CAS: 64-17-5 | エタノール

CAS: 108-88-3 | トルエン

CAS: 108-95-2 | フェノール

(14ページに続く)

安全データシート
JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2023.02.21

バージョン番号: 4

改訂日: 2023.02.21

化学品の名称 GC6C

(13ページの続き)

CAS: 67-56-1	メタノール
CAS: 50-00-0	ホルムアルデヒド

・海洋汚染防止法

CAS: 64-17-5	エタノール
CAS: 108-88-3	トルエン
CAS: 108-95-2	フェノール
CAS: 67-56-1	メタノール
CAS: 50-00-0	ホルムアルデヒド

・特定物質等の規制等によるオゾン層の保護に関する法律

・特定物質代替物質

内容成分はリストアップされていない

・特定物質

内容成分はリストアップされていない

・大気汚染防止法

CAS: 108-88-3	トルエン
CAS: 108-95-2	フェノール
CAS: 67-56-1	メタノール
CAS: 50-00-0	ホルムアルデヒド

・水質汚濁防止法

・有害物質

内容成分はリストアップされていない

・指定物質

CAS: 108-88-3	トルエン	3-3-25
CAS: 108-95-2	フェノール	3-3-55
CAS: 50-00-0	ホルムアルデヒド	3-3-1

・GHS ラベル要素

本製品はGHS(化学品の分類および表示に関する世界調和システム)により分類及び表示されています。

・絵表示



GHS02 GHS05 GHS07 GHS08

・注意喚起語 危険

・危険と定められた成分をラベル表示:

トルエン
フェノール
ホルムアルデヒド

・危険有害性情報

H225 引火性の高い液体及び蒸気
H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H341 遺伝性疾患のおそれの疑い
H350 発がんのおそれ
H361 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い

(15ページに続く)

安全データシート JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2023.02.21

バージョン番号: 4

改訂日: 2023.02.21

化学品の名称 GC6C

(14ページの続き)

H373 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

H412 長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

P210

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

P260

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

P280

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること

P303+P361+P353

皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。

P304+P341

吸入した場合: 呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

P305+P351+P338

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

国内規定:**危険成分 V 付録 II による追加分類:** 発ガン性危険成分グループ III (危険)**使用上の制約に関する注意事項:**

被用者はこの調合に含まれる発ガン性危険成分に暴露されてはならない。ただし、場合に応じて関係当局が例外許可をおろすこともある

化学物質の安全性評価: 化学物質安全性評価が遂行されていない

項目 16: その他の情報

この情報は現在の我々の認識に基づいている。ただし、製品の特性を保証するものではなく、また契約において法的根拠にはならない

限定責任

本書は、本製品に関連し、知っておかなければならないリスクに関するガイダンスとして使用することのみを目的としています。本製品を使用して作業に当たる、あるいは本製品の近くで作業に当たる者はすべて、適切な訓練を受ける必要があります。本製品と接触する者は、本製品の取扱い、保管および利用について、各自判断できなければなりません。アルファ・ラバルでは、アルファ・ラバルが全過失を負うような行動を起こしたことが実証されないかぎり、本書記載の欠陥あるいは記載不足が起因となる、または本製品の利用、取扱い、保管または処分に起因する、いずれかの種類の要求、損失または損害については責任を負いかねます。個別事案に関してアルファ・ラバルと書面により同意および指定している事項以外に、アルファ・ラバルは、本書に記載の情報および本書に記載の製品の両方について、市場性または妥当性に関する暗黙の保証を含むがそれらには限定されない、いずれの約束もしない、またはいずれの責任を負わない

その他の質問は、お近くの Alfa Laval 販売社までお問い合わせください。

www.alfalaval.com**安全データシート作成部門:** Alfa Laval Sustainability Environment**問合せ先**Argentina: alfa.consulta@alfalaval.comAustralia: australia.info@alfalaval.comAustria: info.mideurope@alfalaval.comBelgium: benelux.info@alfalaval.comBolivia: alfa.consulta@alfalaval.comBrazil: alfalaval.br@alfalaval.comBulgaria: bulgaria.info@alfalaval.comCanada: alfacan.info@alfalaval.comChile: chile.informacion@alfalaval.comChina: china.info@alfalaval.comColombia: info.colombia@alfalaval.comCroatia: hrvatska.info@alfalaval.comCzech Republic: czechrepublic.info@alfalaval.comDenmark: info.nordic.dk@alfalaval.comEgypt: alme.marketing@alfalaval.com

(16ページに続く)



安全データシート JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2023.02.21

バージョン番号: 4

改訂日: 2023.02.21

化学品の名称 GC6C

(15ページの続き)

Estonia: estonia.info@alfalaval.com
Finland: info.fi@alfalaval.com
France: environnement@alfalaval.com
Germany: info.mideurope@alfalaval.com
Greece: greece.info@alfalaval.com
Hungary: info.hu@alfalaval.com
India: india.info@alfalaval.com
Indonesia: alfalindo@alfalaval.com
Israel: israel.info@alfalaval.com
Italy: alfalaval.italia@alfalaval.com
Japan: hp.alfajp@alfalaval.com
Latvia: latvia.info@alfalaval.com
Lithuania: lithuania.info@alfalaval.com
Malaysia: malaysia.info@alfalaval.com
Mexico: mexico.info@alfalaval.com
The Netherlands: benelux.info@alfalaval.com
New Zealand: newzealand.info@alfalaval.com
Norway: info.no@alfalaval.com
Peru: ventas.peru@alfalaval.com
Philippines: philippines.info@alfalaval.com
Poland: poland.info@alfalaval.com
Portugal: portugal.info@alfalaval.com
Qatar: alme.marketing@alfalaval.com
Romania: romania.info@alfalaval.com
Russia: moscow.response@alfalaval.com
Singapore: al.singapore@alfalaval.com
Slovak Republic: slovakia.info@alfalaval.com
Slovenia: slovenija.info@alfalaval.com
South Africa: info.sa@alfalaval.com
Spain: info.spain@alfalaval.com
Sweden: info.se@alfalaval.com
Switzerland: info.mideurope@alfalaval.com
Taiwan: taiwan.info@alfalaval.com
Thailand: thailand.info@alfalaval.com
Turkey: turkey@alfalaval.com
Ukraine: ukraine.info@alfalaval.com
United Arab Emirates: alme.marketing@alfalaval.com
United Kingdom: general.uk@alfalaval.com
United States: customerservice.usa@alfalaval.com
Venezuela: venezuela.info@alfalaval.com
Vietnam: vietnam.info@alfalaval.com

略語と略称

ADR: Accord relatif au transport international des marchandises dangereuses par route (European Agreement Concerning the International Carriage of Dangerous Goods by Road)
IMDG: International Maritime Code for Dangerous Goods
IATA: International Air Transport Association
EINECS: European Inventory of Existing Commercial Chemical Substances
ELINCS: European List of Notified Chemical Substances
CAS: Chemical Abstracts Service (division of the American Chemical Society)
DNEL: Derived No-Effect Level (REACH)
PNEC: Predicted No-Effect Concentration (REACH)
LC50: Lethal concentration, 50 percent
LD50: Lethal dose, 50 percent
PBT: Persistent, Bioaccumulative and Toxic
vPvB: very Persistent and very Bioaccumulative
可燃性/引火性ガス 区分1: Flammable gases – Category 1

(17ページに続く)



安全データシート

JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2023.02.21

バージョン番号: 4

改訂日: 2023.02.21

化学品の名称 GC6C

(16ページの続き)

高圧ガス(液化ガス): Gases under pressure – Liquefied gas
引火性液体 区分2: Flammable liquids – Category 2
引火性液体 区分4: Flammable liquids – Category 4
急性毒性(経口) 区分3: Acute toxicity – Category 3
急性毒性(経口) 区分4: Acute toxicity – Category 4
急性毒性(吸入) 区分2: Acute toxicity – Category 2
皮膚腐食性/刺激性 区分1B: Skin corrosion/irritation – Category 1B
皮膚腐食性/刺激性 区分2: Skin corrosion/irritation – Category 2
重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分1: Serious eye damage/eye irritation – Category 1
重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分2A: Serious eye damage/eye irritation – Category 2A
感作性(呼吸器) 区分1: Respiratory sensitisation – Category 1
感作性(皮膚) 区分1: Skin sensitisation – Category 1
生殖細胞変異原性 区分2: Germ cell mutagenicity – Category 2
発がん性 区分1A: Carcinogenicity – Category 1A
生殖毒性 区分2: Reproductive toxicity – Category 2
特定標的臓器有害性(単回暴露) 区分1: Specific target organ toxicity (single exposure) – Category 1
特定標的臓器有害性(単回暴露) 区分3: Specific target organ toxicity (single exposure) – Category 3
特定標的臓器有害性(反復暴露) 区分1: Specific target organ toxicity (repeated exposure) – Category 1
特定標的臓器有害性(反復暴露) 区分2: Specific target organ toxicity (repeated exposure) – Category 2
吸引力呼吸器有害性 区分1: Aspiration hazard – Category 1
水生環境有害性(急性毒性) 区分2: Hazardous to the aquatic environment - acute aquatic hazard – Category 2
水生環境有害性(慢性毒性) 区分2: Hazardous to the aquatic environment - long-term aquatic hazard – Category 2
水生環境有害性(慢性毒性) 区分3: Hazardous to the aquatic environment - long-term aquatic hazard – Category 3

* 前の版からデータを変更